

1.1. 第1回ワークショップ（市民懇談会）

1.1.1. 開催概要

第1回大御庵の杜緑地保全・活用事業に関する懇談会の開催概要は、以下のとおりである。

表 開催概要（第1回）

開催日	令和5年12月4日（月曜日）
開催場所	富士見市役所 第2、第3会議室
参加者	富士見市役所職員 7名 アドバイザー 1名 八千代エンジニアリング 4名 参加者 15名 ※環境、商業、公園等の視点や地元町会、市民公募から構成 Aグループ（イチゴ） 5名 Bグループ（カブ） 4名 Cグループ（梨） 6名
内容	18:30～19:00 受付 19:00～19:25 開会・事務局からの説明 全体説明（事業目的、経緯、市の考え、事業スケジュール等） 19:30～20:25 自己紹介、アイスブレイク（5分間） ワークショップ（50分間） テーマ「どういう時、誰と、どのように、大御庵の杜緑地を利用 したいですか？」 20:25～20:40 全体発表 20:40～20:50 まとめ総評（アドバイザー） 20:50～21:00 閉会

1.1.2. 開催風景

ワークショップ当日の開催風景は以下のとおりである。



〔全体説明〕



〔ワークショップ〕



〔ワークショップ結果発表〕

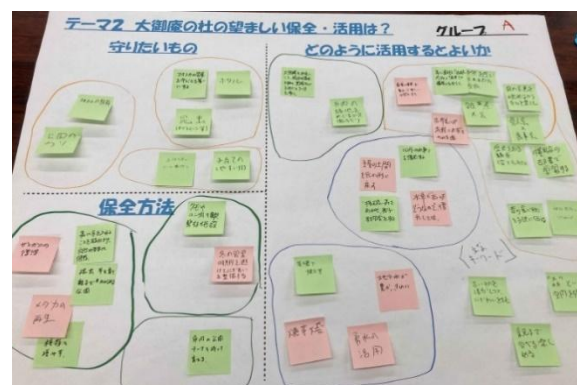
<各グループの結果>

<Aグループ>

■テーマ1



■テーマ2



<Bグループ>

■テーマ1



■テーマ2

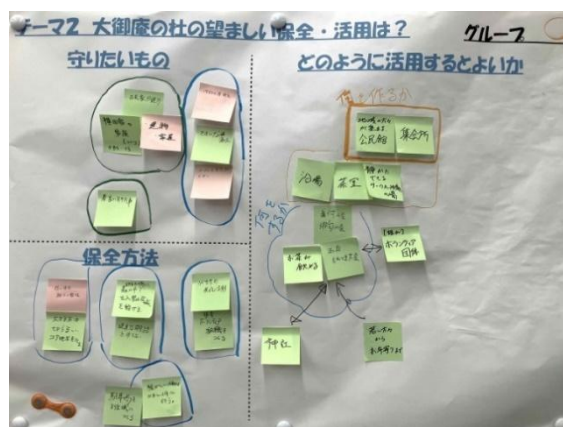


<Cグループ>

■テーマ1



■テーマ2



1.1.3. ワークショップの結果

ワークショップの結果について、以下に整理した。

(1) テーマ別の意見概要

① ワークショップで挙げられた主な意見

各テーマについて、当日の参加者からの主な意見は、以下のとおりである。

【テーマ1】大御庵の杜での過ごし方

《どのように過ごしたいか》	
【生き物観察】 ◇ 自然観察（野鳥、ホタル、木）（緑地） ◇ 用水路で水生植物の観察（緑地） 【散策】 ◇ 散策・探索（緑地） ◇ 子どもたちが少人数で森を探検（緑地） 【休憩・憩い】 ◇ 芝づくり（緑地） ◇ 夕涼み、昼寝（緑地、古民家） ◇ 静かな空間で過ごす（緑地、古民家） 【飲食】 ◇ 湧水を沸かしてコーヒー（緑地） ◇ 縁側でお茶を飲む（古民家） ◇ 囲炉裏でお茶と団子（古民家） ◇ 食事（古民家） ◇ 畑を借りて作物を活用（古民家）	【交流・イベント】 ◇ 子どもたちと落ち葉を集める（緑地） ◇ 地域の写真撮影（緑地） ◇ うどん打ち体験（古民家） ◇ クラシックコンサート（古民家） ◇ 趣味のサークル活動（古民家） ◇ カルチャー教室（古民家） ◇ モノづくり（味噌、まこも馬等）（古民家） ◇ 宿泊体験（古民家） 【歴史・文化】 ◇ 建物の遺産とする（古民家） ◇ 自給自足の家（古民家） 【趣味・娯楽】 ◇ 子どもの遊び場（古民家、緑地） ◇ 長屋門で静かに読書（古民家） ◇ 星空観察（緑地、古民家）

【テーマ2】保全・活用する方法について

《守りたいもの》	《保全方法》
【生き物の生息環境】 ◇ 野鳥の巣や生息地 ◇ 生き物の多様性、多様な鳥類 ◇ ホタル、昆虫 【緑地・樹木】 ◇ 緑地・樹木（大木） ◇ 湧水 ◇ 公園の特徴 ◇ 神社の特徴 【古民家】 ◇ 古民家の造り ◇ 建物・家屋 【子育て環境】 ◇ 子育て環境 ◇ こども大学のテーマ場所	【生き物の生息環境の維持・創出】 ◇ ゼリガニの復活、メダカの再生 ◇ 昆虫等を育て親子で楽しめる公園 【保全に配慮した整備】 ◇ 敷地の導入路の整備 ◇ 過度な散策路を作らない ◇ 森に手を入れることを極力さけ、自然のままに保存 ◇ 大きな木は切らない、コア地区をつくる ◇ 緑の保全、斜面の保全 ◇ 駐車場を別区域に作る 【緑地・樹木を増やす】 ◇ 樹木を植樹 【活用の制限】 ◇ 森の中で立入禁止区域を作る ◇ 騒がしい活動は10月～2月に行う

	<p>【保全活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 水路の美化活動 ◇ 保全ボランティア組織をつくる ◇ 歴史を教える人の配置 <p>【古民家の改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 家屋の補修を行う ◇ 建物などの残すべき物を調査
<p>《活用方法》</p>	
<p>【飲食できる場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 古民家カフェ（自然を感じる、庭の景色） ◇ お年寄りが気軽にお茶を飲める場、茶室 ◇ 年に数回「古民家カフェ」を開く ◇ 近くでとった野菜を食べる <p>【緑地・湧水の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「森」という空間を残す ◇ 湧水の活用 <p>【環境学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 野鳥観察スペース、望遠鏡の貸出し ◇ 小学校の野外学習、生き物調査会 <p>【学びの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 富士見市の歴史を知る講座 ◇ 歴史ミニ講座（年に数回） ◇ 横田家の古文書で学習する 親子で学べ、楽しめる むかしの食べ物を子どもに伝える <p>【地域の居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 公民館、集会所（地域の方々が集まる） ◇ 静かにできるサークル活動の場 ◇ 浴場 	<p>【イベント・交流の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ マルシェ ◇ バザー会場 ◇ 親子で交流 ◇ 着付けの会、俳句の会 ◇ 餅つき大会、雑煮大会、焼き芋大会 <p>【集い・賑わいの場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 数種の事業が集まって楽しい空間にする ◇ 県人会×食事会 <p>【維持・管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 住民によるボランティア <p>【既存施設の改修・復元】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 主屋の土間を元の形に戻す ◇ 水車を復元 ◇ 古いものを生かしつつにぎわいを生む <p>【周辺施設等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 神社祭礼とのマッチング ◇ 大御庵を拠点にして周辺の湧水、史跡などを巡るコースを歩く ◇ 大御庵の杜の案内図 ◇ 路線バスのコース設定

① ワークショップ終了後の追加意見

ワークショップ終了後に提出のあった、当日欠席者からのアンケート及びワークショップ参加者からの追加意見について、以下に整理する。

【テーマ1】大御庵の杜での過ごし方

《どのように過ごしたいか》	
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 早朝に自然を感じながら静かに散策したい（緑地） ◇ 午前中の晴れの日友人と楽しく遊びたい（緑地） ◇ 週末の夜にくつろぐ（少し高いステータス、おしゃれ、特別、イベント性）（古民家） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 休日に家族と静かな時を共有したい（緑地）（古民家） ◇ 運動したい（緑地） ◇ 読書をしたい（緑地）（古民家） ◇ 景色を眺めたい（緑地） ◇ 学び、生きがいをもつ（古民家）

【テーマ2】保全・活用方法について

《守りたいもの》	《保全方法》
【古民家】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 歴史が感じられる建物 ◇ 古民家（大御庵の歴史） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 専門家の定期的な手入れ（点検）、剪定 ◇ ボランティア活動の支援（環境美化スタッフ、歴史や観光等のボランティアガイド等） ◇ 毎日の散歩をしながら生態系保護
《活用方法》	
【自然を楽しむ】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ ビオトープ ◇ 休憩エリア（自然を楽しめるような落ち着いた場所） 【飲食できる空間】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 飲食店（古民家カフェ、蕎麦屋、懐石料理店） ◇ 富士見市や三芳の特産物を使った小さなレストラン ◇ 学びの場と併せた飲食スペース（ワークショップ、図書、展示…etc） 【集い・賑わいの場】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ コワーキングスペース ◇ シェアキッチン 	【宿泊】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 宿泊可能な古民家、民泊施設 【学びの場】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 博物館のような学習できる見学スペース ◇ 習い事の開催（生け花教室、書道教室、そば打ち教室、陶芸教室） ◇ 和文化の発信（活動拠点、展示会） 【イベント・広報】 <ul style="list-style-type: none"> ◇ ポップアップストア ◇ ワークショップ ◇ 富士見市の成り立ち等を市内外に発信する「発信とアイコン」としての活用

(2) 意見の分類

① テーマ1「大御庵の杜での過ごし方は？」

テーマで挙げられた意見の内容について、以下のとおり分類・整理を行った。

※意見数は付箋1枚に複数の意見がある場合は、分けて整理しそれぞれ1件とカウントした。

【緑地】

項目	意見数
生き物観察	9件
散策	4件
休憩・憩い	3件
交流・イベント	2件
飲食	1件
合計	19件

【古民家】

項目	意見数
交流・イベント	14件
飲食	6件
歴史・文化	2件
休憩・憩い	1件
趣味・娯楽	1件
合計	24件

【全体】

項目	意見数
趣味・娯楽	2件
交流・イベント	1件
休憩・憩い	1件
合計	4件

② テーマ2「どのように保全・活用する？」

テーマ2で挙げられた意見の内容について、以下のとおり分類・整理を行った。

※意見数は付箋1枚に複数の意見がある場合は、分けて整理しそれぞれ1件とカウントした。

【守りたいもの】

項目	意見数
生き物の生息環境	8 件
緑地・樹木	3 件
古民家	3 件
子育て環境	3 件
湧水	2 件
イベント	1 件
合計	20 件

【保全方法】

項目	意見数
生き物の生息環境の維持・創出	5 件
保全に配慮した整備	5 件
古民家の改修	4 件
自然のまま保全	3 件
活用の制限（時期、立入の制限等）	3 件
保全活動	2 件
緑地・植物を増やす	1 件
ガイド等の設置	1 件
テーマを持たせる	1 件
合計	25 件

【活用方法】

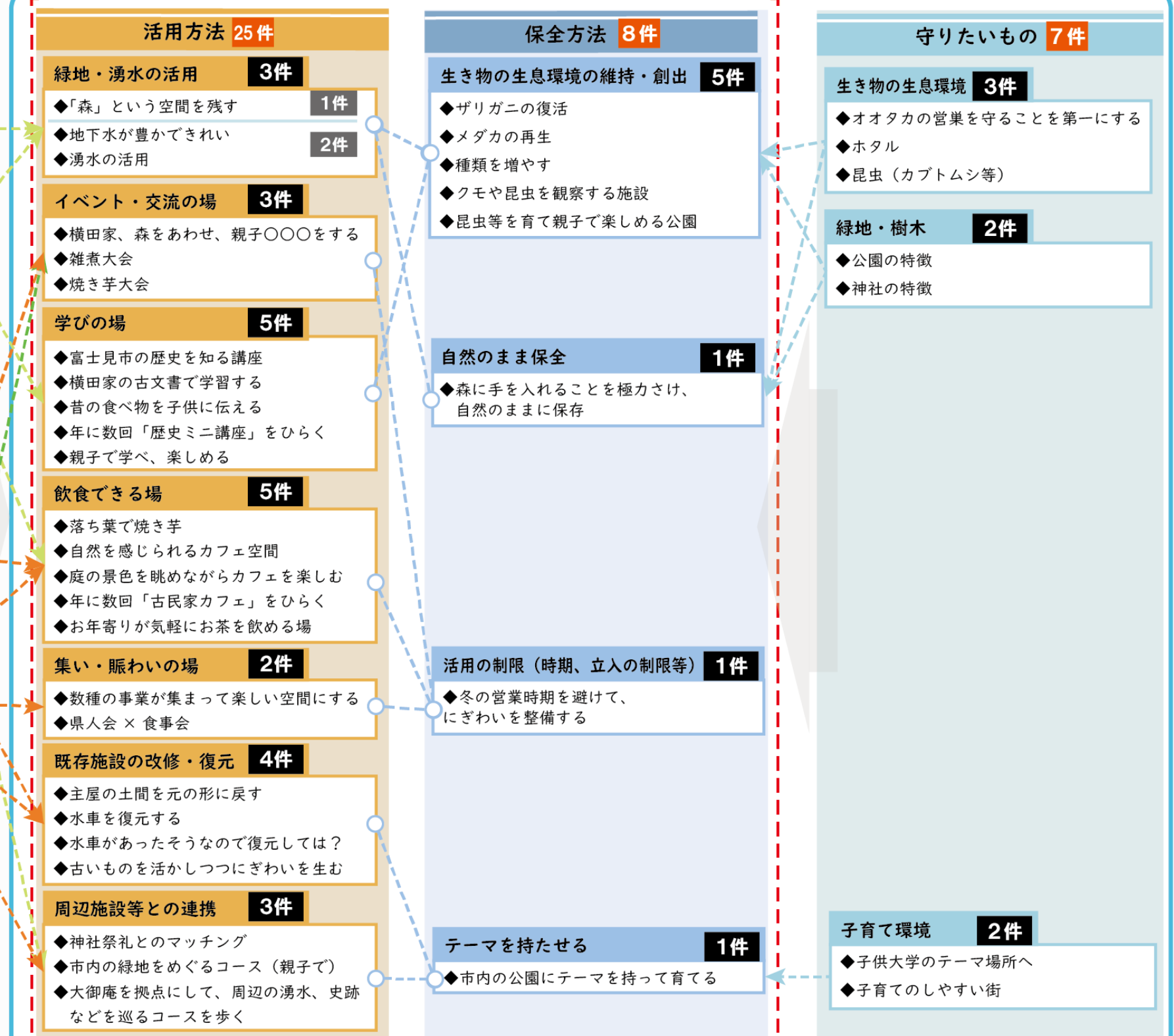
項目	意見数
集い・賑わいの場	14 件
飲食できる場	7 件
イベント・交流の場	6 件
周辺施設等との連携	6 件
既存施設の改修・復元	4 件
学びの場	4 件
緑地・湧水の活用	3 件
環境学習の場	3 件
維持・管理	2 件
合計	49 件

A グループ（イチゴ）

テーマ① 「大御庵の杜での過ごし方は？」



テーマ② 「大御庵の杜をどのように保全・活用する？」

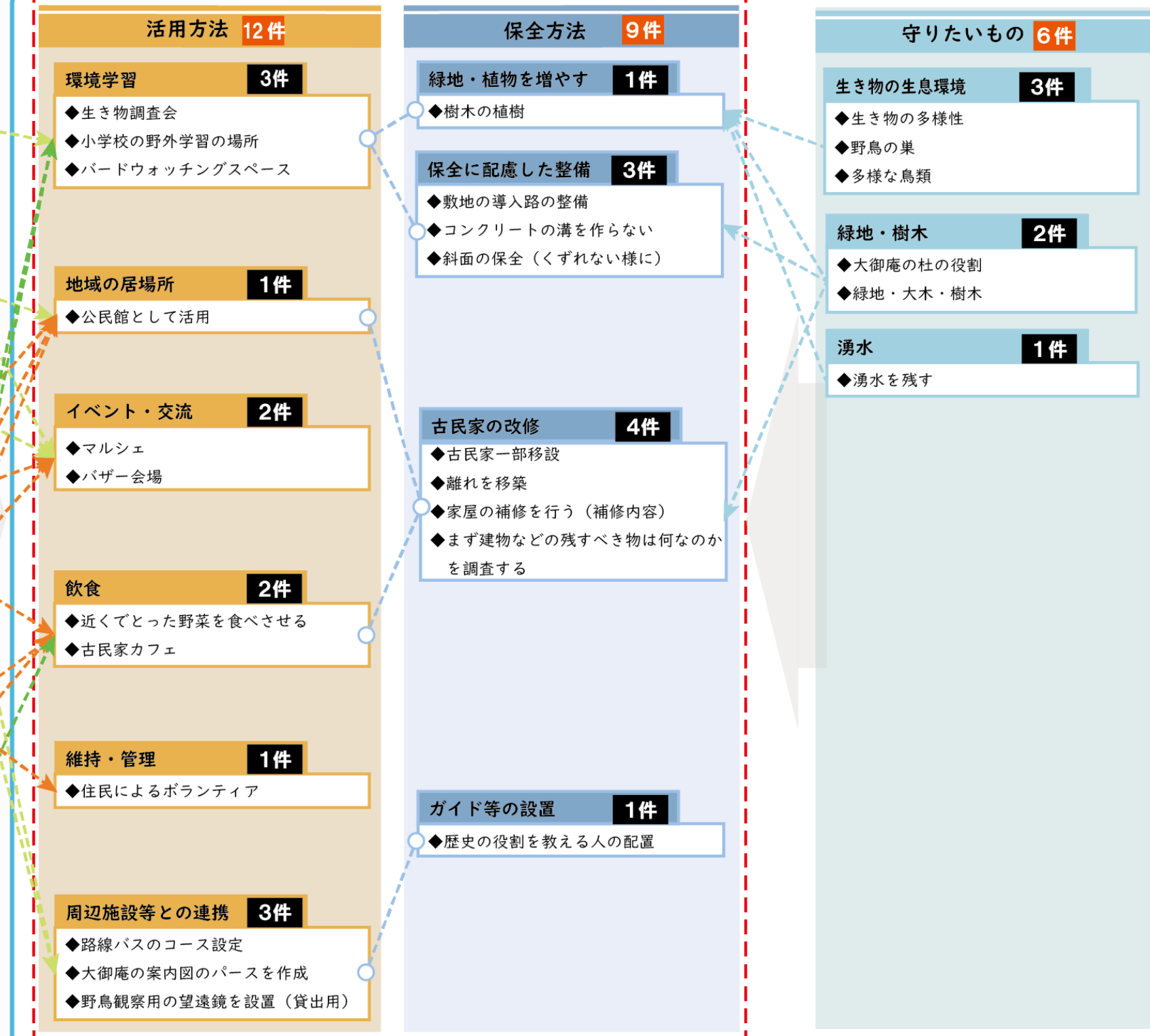


B グループ（カブ）

テーマ① 「大御庵の杜での過ごし方は？」

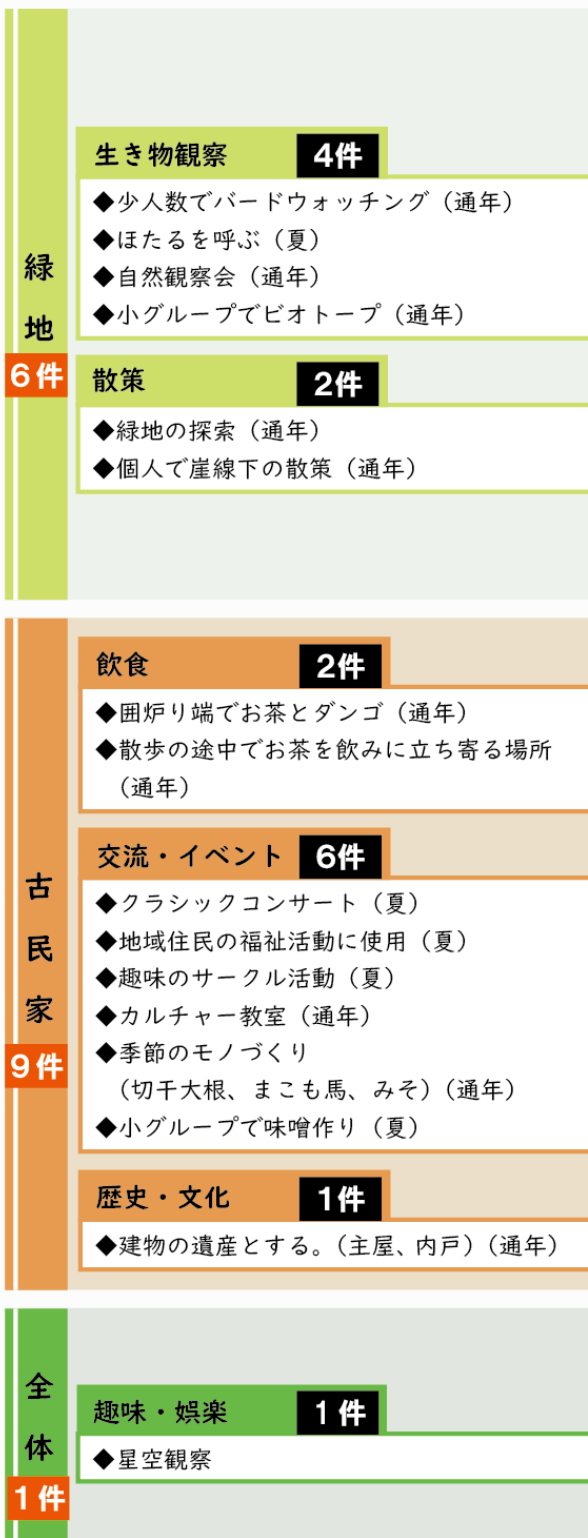


テーマ② 「大御庵の杜をどのように保全・活用する？」

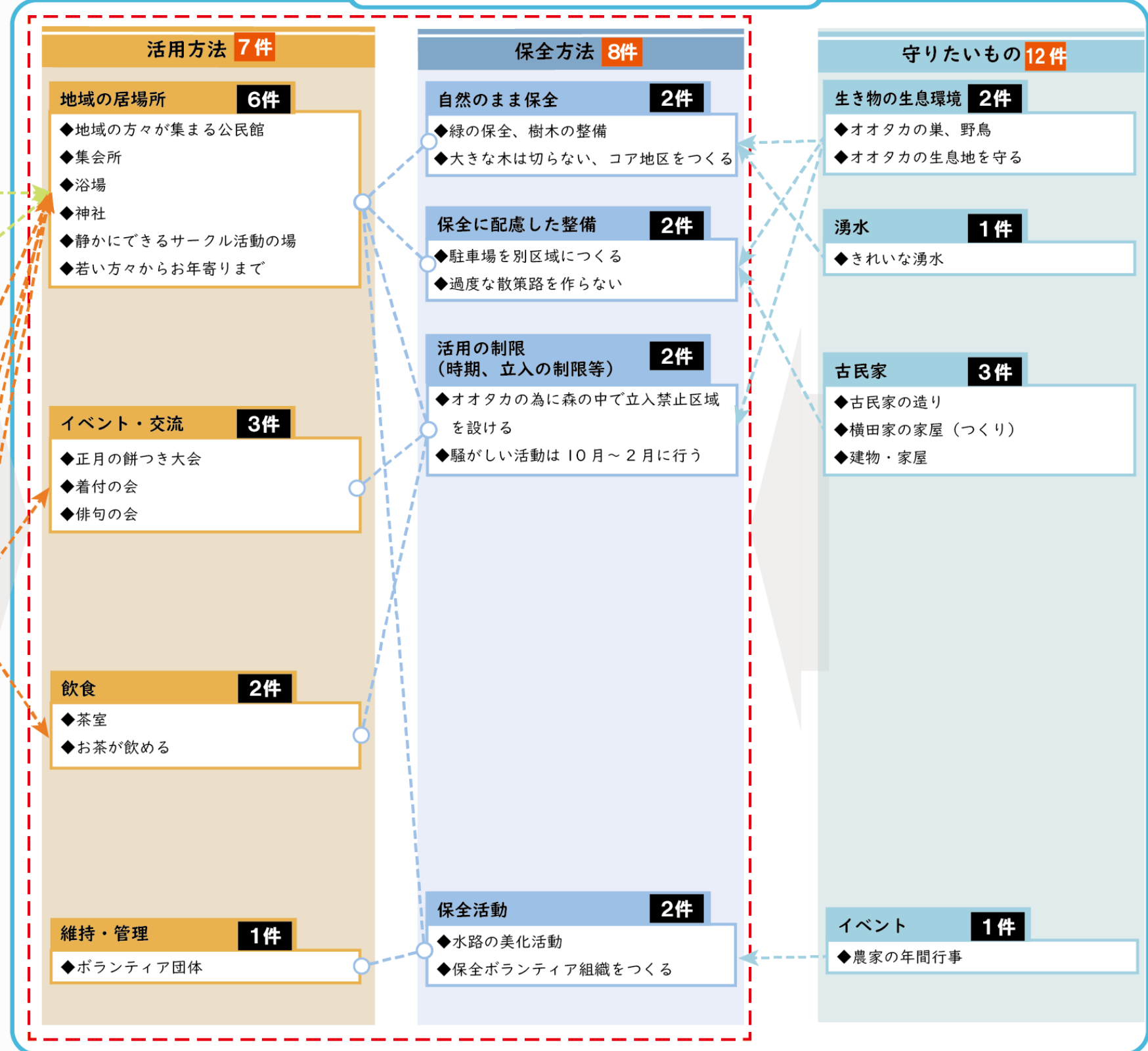


C グループ（梨）

テーマ① 「大御庵の杜での過ごし方は？」



テーマ② 「大御庵の杜をどのように保全・活用する？」



(4) まとめ総評

第1回ワークショップ(市民懇談会)のまとめ総評として、本懇談会のアドバイザーより、以下のとおりコメントを頂いた。

- 様々な視点から多様な意見が出された。
- 現場を見ていない人にも大御庵の杜緑地のイメージが湧いてくる具体的な議論であった。
- 市のコンセプトでは対象地に基づいた「五感」の例が記載されているが、この場所を利用する人にとっての五感というものをもう少し具体的にイメージできるとよい。例えば、Aグループの発表では「子ども」というキーワードが多く出ていたが、子どもの表情、声、温度感等を具体的にイメージできるとよい。
- 利用する世代によって、利用目的やニーズなども異なるため、世代ごとに利活用方法などを整理するとよいのではないか。
- 大御庵の杜緑地には様々な歴史があるように感じた。公式な記録だけではなく、市民の中にしか残っていない文献などもあると感じたため、この場所を通して歴史探索、文化探索などができるとよいのではないか。